安全データシート

【製造者情報】

会社名	山善製薬株式会社
住所	大阪市中央区道修町２丁目２番４号
担当部門	山善製薬株式会社　滋賀工場
	電話番号　(0748) 36-7121
	FAX 番号　(0748) 36-6519

整理番号　３０２４　　　　改訂　２０２４年 ７月

【製品名】　次亜塩素フォーム

【危険有害性の要約】

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない（区分対象外）
	酸化性ガス	区分に該当しない（区分対象外）
	高圧ガス	区分に該当しない（区分対象外）
	引火性液体	分類できない
	可燃性固体	区分に該当しない（区分対象外）
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	分類できない
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない（区分対象外）
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分 1
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 1
	発がん性	分類できない
	生殖毒性・授乳影響	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性　短期（急性）	区分 1
	水生環境有害性　長期（慢性）	区分 2
	オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル要素

絵表示

注意喚起語

危険

危険有害情報

金属腐食のおそれ
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
飲み込むと有害
水生生物に毒性

注意書き

［安全対策］

使用時に保護メガネ、ゴム手袋等を着用し、換気のよい場所で使用すること。
酸性の洗浄・漂白剤、アルコール製剤、シアヌール酸系の製品等と混合（併用）すると有害な塩素ガスが発生して危険なので避けること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。
人体には使用しないこと。
合成ゴム・合成樹脂製品、金属製品等で変質（変色）することがあるので注意すること。

衣類、敷物、家具等に付くと脱色（変色）することがあるので注意すること。
直射日光の当たらない涼しい場所に保管すること。

［応急処置］　目に入った場合は、失明の恐れがあるので、こすらずに直ちに流水で 15 分以上洗い流し、痛みや異常がなくても速やかに眼科医の診療を受けること。
飲み込んだ場合は、直ちに口をすすぎ、多量の水、牛乳や生卵等を飲ませ、無理に吐かせずに速やかに医師の診療を受けること。
皮膚に付着した場合は、直ちに流水又はシャワーで十分洗い流すこと。

［保　管］　直射日光の当たらない涼しい場所に保管すること。
小児の手の届かないところに保管すること。

［廃　棄］　内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に業務委託すること。

【組成、 成分情報】

単一製品・混合物の区分	:	混合物
化学名	:	次亜塩素酸ナトリウム
化学式	:	$NaClO$
官報公示整理番号（化審法）	:	(1)-237
官報公示整理番号（安衛法）	:	対象外
CAS 番号	:	7681-52-9
成分情報	:	次亜塩素酸ナトリウム　0.1～0.5％ 添加物：水酸化ナトリウム（1%）、界面活性剤、安定剤

【応急措置】

吸入した場合	:	万一、有害な塩素ガスを吸い込んだ場合は、直ちに風通しのよい場所に移動させ、速やかに診療を受ける。
皮膚に付着した場合	:	直ちに多量の水で洗い流し、異常のある場合は、医師の診療を受けること。
眼に入った場合	:	こすらずに直ちに清浄な流水で 15 分以上洗い流した後､医師の診療を受ける。
飲み込んだ場合	:	直ちに口をすすぎ、多量の水、牛乳や生卵等を飲ませ、無理に吐かせずに、速やかに医師の診療を受ける。
最も重要な微候及び症状	:	データなし
応急措置をする者の保護	:	データなし
医師に対する特別な注意事項	:	データなし

【火災時の措置】

消火剤	:	大量の水
使ってはならない消火剤	:	酸との接触により有害な塩素ガスを発生するので、炭酸ガス、酸性の粉末消火剤は避ける。
火災時の特有の危険有害性	:	データなし
特有の消火方法	:	大量の水噴霧を行う。
消火を行う者の保護	:	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

【漏出時の措置】

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	:	腐食性が強いので、必ず保護具を着用する。 保護眼鏡、防毒マスク、ホースマスク等適当な保護具を必ず着用し、河川等に排出されないように回収、詰替え、還元分解などの措置を講じる。
環境に対する注意事項	:	多量に漏れた場合は、河川等に排出されないように回収、詰め替え等の措置を講じる。
封じ込め及び浄化の 方法・機材	:	少量の場合、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りは河川、用水路に流さないように水で洗い流す。 多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、ドラム等に回収する。 回収後の残りは河川、用水路に流さないように水で洗い流す。

二次災害の防止策	:	排水溝・下水溝・地下室への流入を防ぐ。 回収物の収納容器は、内容物の処分を行うまで密封しておく。

【取扱い及び保管上の注意】

取扱い

技術的対策	:	局所換気及び全体換気設備を設ける。保護具を着用し、眼、皮膚への接触を避ける。
局所排気・全体換気	:	局所換気及び全体換気設備を設ける。
注意事項	:	可燃性、アセチレン、エチレン、水素、アンモニア、微細金属との接触を避ける。
安全取扱い注意事項	:	保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。 取り扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保管

技術的対策	:	消防法の規則に従う。
保管条件	:	データなし
安全な容器・包装材料	:	塩ビ、ポリエチレン、チタン等を使用する。

【暴露防止及び保護措置】

管理濃度	:	未設定
許容濃度	:	未設定
設備対策	:	局所換気及び全体換気設備を設ける。
保護具		
呼吸器の保護具	:	ハロゲンガス用防毒マスク、空気呼吸器
手の保護具	:	保護手袋（ゴム製）
眼の保護具	:	ゴーグル型保護眼鏡または顔面シールド
皮膚及び身体の保護具	:	不浸透製保護衣、ゴム長靴、ゴム前掛
衛生対策	:	取扱い後はよく手を洗うこと。

【物理的及び化学的性質】

物理的状態

形状	:	液体
色	:	無色～橙黄色
臭い	:	僅かに特異臭あり
pH	:	11～12
比重	:	約1．０２（２０℃）
水に対する溶解性	:	可溶

【安定性及び反応性】

安定性	:	空気、熱、光、金属などに不安定で、放置すると徐々に分解して効力を失う。 未開封で３年。
危険有害反応可能性	:	酸と接触すると塩素ガスが発生する。
避けるべき条件	:	酸、鉄などの接触を避ける。
混触危険物質	:	アミン類やアンモニアと反応して有害で爆発性の三塩化窒素を発生する。
危険有害な分解生成物	:	酸との混合により塩素ガスを発生する。
その他	:	データなし

【有害性情報】（製品として）

急性毒性（経口、経皮、吸入）	:	データなし
皮膚腐食性及び刺激性	:	分類できない

眼に対する重篤な損傷／刺激性 ： 分類できない
呼吸器感作性 ： 分類できない
皮膚感作性 ： 区分に該当しない
発がん性 ： 区分に該当しない
生殖細胞変異原性 ： 区分に該当しない
生殖毒性・授乳影響 ： 分類できない
特定標的臓器（単回暴露） ： 区分３
特定標的臓器（反復暴露） ： 分類できない
吸引性呼吸器有害性 ： データなし

【環境影響情報】

生態毒性
水生環境有害性（急性） ： 区分１
水生環境有害性（慢性） ： 区分２
オゾン層への有害性 ： 分類できない

【廃棄上の注意】

残余廃棄物 ： 廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を遵守し、適正な処理をするように依頼する。

汚染容器・包装 ： 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者に廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を厳守して、適正な処理をするように依頼する。

【輸送上の注意】

国際規制
国連分類(クラス、名称) ： クラス８　腐食性物質
国連番号 ： １７９１
品　名 ： 次亜塩素酸塩（水溶液）
容器等級 ： Ⅲ
航空規制情報 ： 施行規則第 194 条危険物告示別表第１　腐食性物質

国内法規制
陸上輸送 ： 消防法の規定に従う。
海上輸送 ： 船舶安全法の規定に従う。
航空輸送 ： 航空法の規定に従う。
海洋汚染物質 ： 非該当

輸送の特定の安全対策及び条件： 移送時にイエローカードの保持が必要。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針 ： １５４

【適用法令】

化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法） ： 該当しない
消防法 ： 該当しない
労働安全衛生法 ： 表示・通知対象物質（水酸化ナトリウム）
： 施行令 別表第１危険物 酸化性の物（次亜塩素酸ナトリウム）
毒物及び劇物取締法 ： 該当しない

船舶安全法　：　腐食性物質（危規則別表第１）
航空法　：　腐食性物質（施行規則第１９４条危険物告示別表第１）

【その他の情報】

新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。
記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。
特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。

記載内容の問合せ先
山善製薬株式会社
大阪市中央区道修町２丁目２番４号
担当部門　山善製薬株式会社　学術室
電話番号　０６-６２３１-１８２１
ＦＡＸ　０６-６２３１-１８２４